

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究」を行っています。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究A）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

日本では年間7～8千人の心室性不整脈による院外心停止が発生しています。院外心停止を減少させるためには、原因疾患や誘因を特定し、早期発見と治療を目指していく必要がありますが、特に50歳未満の若年者では、院外心停止や致死性不整脈の発生が高齢者に比べて少なく、原因疾患、治療内容、転帰に関しての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースを用いて、若年発症の院外心停止や致死性不整脈の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

以下の1)～3)の入院において、下記の診療情報を利用いたします。

- 1) 心室細動・心室頻拍・院外心停止 での入院
- 2) 退院後の再入院
- 3) 1)と同一年度の、1)以前の入院

入院時の年齢、性別、入退院年月日、退院時転帰、身長、体重、入院時の要介護度、低栄養の有無、病名、医療費、治療薬、治療内容

また、1)の入院と同一年度の外来通院記録も利用いたします。

【研究期間】研究許可日より2027年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、匿名化されており、原則として個人を特定できない情報です。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定

できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司
電話 06-6170-1070

当院に心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究B）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

日本では年間7～8千人の心室性不整脈による院外心停止が発生しています。院外心停止を減少させるためには、原因疾患や誘因を特定し、早期発見と治療を目指していく必要性がありますが、特に50歳未満の若年者では、院外心停止や致死性不整脈の発生が高齢者に比べて少なく、原因疾患、治療内容、転帰に関しての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、若年発症の院外心停止や致死性不整脈の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、新

型コロナワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症の治療歴、病理学的検査の結果

【情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

共同研究機関

JROAD-DPC データベースより、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された50歳未満の患者様の治療実績がある機関を選定する(*参加施設確定後、共同研究施設としてオプトアウト文書の記載を更新し、倫理委員会に申請の上、承認を得た後に本研究〔研究B〕を開始する)予定です。今後、共同研究機関が決まりましたら、改めて公開いたします。

本研究で収集した情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：心臓血管内科 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）、インターネットを使用して提供する場合はセキュリティ条件を満たした「Electric Data Capture System」で提供します。

【研究期間】 研究許可日より2027年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 相庭 武司

住所 564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

電話番号 06-6170-1070

当院に心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方で、病名に「Brugada 症候群」が登録されている方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究 C：Brugada 症候群に関する調査研究「JROAD-Brugada 調査研究」）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

Brugada 症候群は、特徴的な Brugada 型心電図を示し、明らかな器質的心疾患を認めず、心室細動をきたす比較的稀な病態です。発症は男性に多いことが知られ、女性での診断、治療内容、転帰についての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、Brugada 症候群の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的としています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝子検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部 CT、心臓 MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、新型コロナワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症の治療歴、病理学的検

査の結果

【情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

共同研究機関

本書類の末尾参照

本研究で収集した情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：心臓血管内科 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）、インターネットを使用して提供する場合はセキュリティ条件を満たした「Electric Data Capture System」で提供します。

【研究期間】 研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【利益相反】

本研究の利益相反状態に関しては、各研究機関にて適切に管理されています。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 相庭 武司

住所 564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

電話番号 06-6170-1070

共同研究機関 一覧

機関名	所属・職名	研究責任者
札幌医科大学附属病院	循環器・腎臓・代謝内分泌内科・助教	神山 直之
市立札幌病院	循環器内科・副医長	鳥羽 真弘
製鉄記念室蘭病院	内科 循環器内科・部長	中村 裕一
弘前大学医学部附属病院	循環器腎臓内科学講座・准教授	佐々木 真吾
岩手医科大学附属病院	内科学講座循環器内科分野・助教	芳沢 礼佑
山形大学医学部附属病院	第一内科（循環器内科）・講師	有本 貴範
(一財)厚生会仙台厚生病院	不整脈科科長 兼 循環器内科部長	山下 賢之介
福島県立医科大学附属病院	循環器内科・准教授	山田 慎哉
新潟大学医歯学総合病院	循環器内科・助教	大槻 総
群馬大学医学部附属病院	循環器内科・特任准教授	中谷 洋介
群馬県立心臓血管センター	循環器内科・循環器内科第二部長	中村 紘規
前橋赤十字病院	心臓血管内科・部長	庭前 野菊
筑波大学附属病院	循環器内科・講師	小松 雄樹
水戸済生会総合病院	循環器内科・部長	長谷川 智明
埼玉医科大学国際医療センター	心臓内科・不整脈科・教授	加藤 律史
順天堂大学医学部附属浦安病院	循環器内科・教授	戸叶 隆司
武蔵野赤十字病院	循環器科・医師	吉光寺 直哉
東京医科大学病院	循環器内科・講師	矢崎 義直
日本医科大学付属病院	循環器内科・講師	村田 広茂
東京都済生会中央病院	循環器内科・担当部長	高橋 寿由樹
日本大学医学部附属板橋病院	循環器内科・教授	奥村 恭男
順天堂大学医学部附属順天堂医院	循環器内科・准教授	林 英守
東京科学大学病院	循環器内科・寄付講座助教	後藤 健太郎
東京女子医科大学病院	循環器内科・特任教授	庄田 守男
東邦大学医療センター大森病院	循環器内科・准教授	藤野 紀之
河北総合病院	循環器内科・副部長	佐藤 由里子
湘南鎌倉総合病院	循環器科・医師	小山 右文
横浜南共済病院	循環器内科・心臓力テーター部長	清水 雅人
横浜市立大学附属病院	循環器内科・講師	細田 順也
山梨大学医学部附属病院	循環器内科・学部内講師	黒木 健志

聖隷三方原病院	循環器センター・センター長	若林 康
浜松医療センター	循環器内科・部長	武藤 真広
藤田医科大学病院	循環器内科・准教授	原田 将英
刈谷豊田総合病院	循環器内科・部長	原田 光徳
信州大学医学部附属病院	循環器内科・教授	桑原 宏一郎
岐阜県総合医療センター	循環器内科・部長	野田 俊之
富山県立中央病院	循環器内科・部長	丸山 美知郎
福井大学医学部附属病院	循環器内科・教授	多田 浩
彦根市立病院	循環器内科・部長	天谷 直貴
京都大学大学院医学研究科	循環器内科学・講師	牧山 武
大阪けいさつ病院	循環器内科・副部長	南口 仁
大阪公立大学医学部附属病院	循環器内科・医師	福田 大受
近畿大学病院	心臓血管センター・准教授	野田 崇
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	循環器内科・医師	三嶋 剛
奈良県立医科大学附属病院	循環器内科・講師	西田 卓
和歌山県立医科大学附属病院	循環器内科・教授	田中 篤
日本赤十字社和歌山医療センター	循環器内科・医師	伊勢田 高寛
神戸大学医学部附属病院	循環器内科・特命教授	福沢 公二
倉敷中央病院	循環器内科・部長	田坂 浩嗣
津山中央病院	院長	岡 岳文
広島大学病院	循環器内科・教授	中野 由紀子
国立病院機構東広島医療センター	循環器内科・医長	城 日加里
山口大学大学院医学系研究科	器官病態内科学・講師	吉賀 康裕
済生会山口総合病院	循環器内科・院長補佐	金本 将司
島根大学医学部	循環器内科・教授	田邊 一明
徳島赤十字病院	第二循環器内科・部長	細川 忍
近森病院	循環器内科・内科顧問	深谷 真彦
福岡大学病院	循環器内科/臨床検査・輸血部・教授	小川 正浩
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	循環器内科・部長	小椋 裕司
福岡市民病院	循環器内科・診療統括部長	弘永 潔
長崎大学病院	循環器内科・講師	深江 学芸

熊本大学病院	循環器内科・教授	辻田 賢一
国立病院機構熊本医療センター	循環器内科・客員研究員	藤本 和輝
熊本赤十字病院	第一循環器内科・部長	角田 隆輔
宮崎市郡医師会病院	循環器内科・医師	津曲 保彰
国立病院機構鹿児島医療センター	不整脈治療科・部長	塗木 徳人
地方独立行政法人那覇市立病院	循環器内科・科長	旭 朝弘
沖縄県立中部病院	循環器内科・副部長	高橋 孝典

当院に心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方で、病名に「カテコラミン誘発性多形性頻拍」の登録がある方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究D：カテコラミン誘発多形性心室頻拍の調査研究）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

カテコラミン誘発多形性頻拍は、運動などの刺激により特徴的な多形性心室頻拍をきたし、失神や突然死の原因になる稀な不整脈疾患です。希少であるため、診断経緯、治療内容、転帰に関しての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、カテコラミン誘発多形性頻拍の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝子検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事

とその日付、新型コロナワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症の治療歴、病理学的検査の結果

【情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

共同研究機関

JROAD-DPC データベースより、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者様のうち、カテコラミン誘発多形性頻拍の患者様の治療実績がある機関を選定する(*参加施設確定後、共同研究施設としてオプトアウト文書の記載を更新し、倫理委員会に申請の上、承認を得た後に本研究〔研究 D〕を開始する) 予定です。今後、共同研究機関が決まりましたら、改めて公開いたします。

本研究で収集した情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供の際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：心臓血管内科 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）、インターネットを使用して提供する場合はセキュリティ条件を満たした「Electric Data Capture System」で提供します。

【研究期間】 研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 相庭 武司

住所 564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

電話番号 06-6170-1070

当院に心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方で、病名に「QT短縮症候群」の記載がある方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究E：QT短縮症候群の調査研究）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

QT短縮症候群は、特徴的な心電図所見を呈し（QTの短縮）、失神や突然死の原因になる非常に稀な不整脈疾患です。世界でも数百例程度の報告しかなく、希少であるため、診断経緯、治療内容、転帰についての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、QT短縮症候群の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的としています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝子検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、新型コロナワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症の治療歴、病理学的検

査の結果

【情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 大津 欣也 理事長

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

共同研究機関

JROAD-DPC データベースより、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された患者様のうち、QT短縮症候群の患者様の治療実績がある機関を選定する(*参加施設確定後、共同研究施設としてオプトアウト文書の記載を更新し、倫理委員会に申請の上、承認を得た後に本研究〔研究 E〕を開始する) 予定です。今後、共同研究機関が決まりましたら、改めて公開いたします。

本研究で収集した情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：心臓血管内科 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）、インターネットを使用して提供する場合はセキュリティ条件を満たした「Electric Data Capture System」で提供します。

【研究期間】 研究許可日より 2027年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 相庭 武司

住所 564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

電話番号 06-6170-1070